

台湾有事と日本の危機

(PHP新書で2月19日に出版予定)

『台湾有事』をめぐる書籍やメディアの記事が数多く出され、さまざまなシミュレーションが語られるようになった。しかし、20年近く中国人民解放軍を研究してきた筆者からみると、いずれのシナリオも根拠が薄弱と言わざるを得ない。中国がどのように台湾を併合しようとしているのか？ファクトとエビデンスに基づく精緻なシナリオを紹介する。

報告

峯村 健司 氏

一般財団法人

キャノングローバル戦略研究所

主任研究員

コメント

塩澤 英一 氏

共同通信社

論説委員兼編集委員

司会

吉崎 知典 氏

東京外国語大学 特任教授

TUFS地域研究センター長

日時

2024年2月21日(水)

16:10 ~ 17:40

ZOOMによるオンライン開催

一般公開・学部生可

(参加無料)

共催

TUFS地域研究センター／東京外国語大学国際関係研究所



iir-office@tufs.ac.jp
(国際関係研究所事務局)



www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/
(国際関係研究所ホームページ)